

平成27年度 大田区区民協働推進会議（第3回）

日時：平成27年9月24日（木）

場所：本庁舎2階 203会議室

【議題】

- 1 委員紹介
- 2 地域力応援基金助成事業について
 - ①ステップアップ助成事業公開プレゼンテーションについて 【10/10（土）】
 - ②スタート・ステップ・ジャンプアップ助成事業 経過観察の状況について
- 3 調査研究テーマ「学びに取り組む区民を地域活動につなぐための支援策」（案）について
- 4 その他

【出席者】

勝又 加藤 内藤 寺田 南 中島 牛山 角田 坂入 杉崎 平澤 杉山

地域力推進部長 区民協働担当課長 地域力連携協働支援員 区民協働担当 2名

【会議録】

事務局	定刻になりましたので、平成27年度第3回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。 本日、委員10名の方にご出席していただいておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。
会長	《会長あいさつ》
部長	《部長あいさつ》
会長	それでは、会議をはじめさせていただきます。 最初に、1 委員の活動について各委員からご紹介をお願いします。 《資料に従って委員が自己紹介》
会長	では、次に委員の活動について各委員からご紹介をお願いします。 《委員自己紹介》 地域力応援基金助成事業[今年度実施分]の実施状況について、事務局より説明をお願いします。 《地域力応援基金助成事業ステップアップ・ジャンプアップ助成の申請事業と審査の状況、経過観察については非公開》
事務局	今年度、地域力応援基金の実施事業につきましては、継続審査の審査員が経過観察を行うこととなっております。継続審査の連絡につきましては、各担当から委員へさせていただきます。宜しくお願いします。
会長	ありがとうございました。 次に調査研究テーマ「学びに取り組む区民を地域活動につなぐための支援策」（案）について事務局から説明をお願いします。
支援員	《資料に従って、学びの場の生涯学習担当の事業、エセナおたの事業、教育振興プラン2014の説明し、今後のスケジュールを確認。ヒアリングを行うための予備調査を

6名に対して行っている。予備調査の対象者の概要を説明。予備調査対象者から紹介された人からヒアリングを行っていく。》

会長 ありがとうございます。何か質問はありますか？

委員 この調査の仮説は、こういう活動があれば協働につながっていくというものを導きたいのか？生涯学習から町会につながった例とかあるのか？

支援員 仮説を立ててはいるが、実際に聞いてみないと分からない部分もある。生涯学習から町会活動につながっている例もある。

委員 学習と地域活動につながる支援策を導き出せる聞き方を工夫してほしい。

委員 生涯学習事業の総括や見直し事項、課題は把握されていますか？

支援員 生涯学習担当に聞いて基本の数字を聞いてはいる。生涯学習事業の課題までは今のところ聞いていない。

事務局 これから同じ課になったことで、この調査を通じて課題の情報共有や事業の連携・協働を図っていきたい。

委員 調査・研究を行って、課題に対して、すぐ実践を行ってほしい。

支援員 今後、生涯学習と区民協働の支援策の根拠となる部分をヒアリングで明らかにしていきたい。

委員 区民大学に参加したことがあるが趣味の範囲に終わってしまう人もいる。テーマによっては、地域還元に結び付きやすいものがあるかと思います。そこら辺を明らかにしてほしい。

会長 難しいとではしょうが、学習から地域につながるものが見いだせるといいと思います。ヒアリングの範囲はもうすぐ広げたほうがいいものができると思います。

委員 学びから地域に結び付く人は多くはないと思いますが、学びの中でも循環がある。そういうサイクルが大事ではないか。

会長 ここで、次回の推進会議の日程を決めたいと思いますので、事務局からお願いします。

事務局 < 第4回 区民協働推進会議 11月4日()開催 >

会長 これで審議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。

平成27年度 大田区区民協働推進会議（第4回）

日時：平成27年11月4日（水）

場所：本庁舎2階 203会議室

【議題】

- 1 地域力応援基金助成事業について
 - ① ステップアップ助成事業[新規]の審査について
 - ② スタート、ステップ・ジャンプアップの継続審査委員について
- 2 調査研究テーマ経過報告について
- 3 その他

【出席者】

加藤 内藤 寺田 中島 牛山 角田 坂入 杉崎 平澤

地域力推進部長 区民協働担当課長 地域力連携協働支援員 区民協働担当 2名

【会議録】

事務局	定刻になりましたので、平成27年度第4回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。 本日、委員10名の方にご出席いただいておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。
会長	《会長あいさつ》
部長	《部長あいさつ》
会長	まず、地域力応援基金助成事業ステップアップ助成選考審査について、事務局から説明をお願いします。 ○公開プレゼンテーション…10月15日（土）実施 《ステップアップ助成の申請事業と審査の状況については非公開》
委員	経費積算基準ができつつあるため、その辺は募集要項に明記してほしい。
会長	では、次の継続審査員の選出について、事務局からお願いします。
事務局	それでは継続審査員の選出に入ります。 書類締切 12月初旬 ○ステップアップ・ジャンプアップ助成 継続審査員 2名…面接日…2月初旬 ○スタートアップ助成 継続審査員 2名…面接日…1月下旬
会長	継続審査員の選出を行います。 《継続審査員選出》
会長	ありがとうございました。よろしくお願いします。

会長 それでは、調査研究テーマの進捗状況について、事務局からお願いします。

支援員 《資料に従って説明。これまでに行った3名のヒアリング結果を説明。12月までにヒアリングを行う予定。》

会長 何かご意見・ご質問ありますか？

委員 前も言いましたが学習のサイクルが重要だと思いますので、そこを資料に表現してほしい。

委員 アクションを起こして地域に飛び込む人は稀である。商店主が町会役員をやっていることが多い。地域や団体に入るまでの勇気・きっかけが大切である。

会長 町会内の連携はできているが、メンバーが固定している。他の地域とのつなぎ役を町会長がやればいいが、なかなかできていないため、人材不足になっている。

委員 生涯学習の分野でもつなぎ役は大事である。つながりたくてもどこに行けば分からないことが現実にある。つなげる役とつながりたい役が両方見えている必要がある。

支援員 確かに地域につながる例は多くはないと思っている。この成功例の中から何か学んでいきたい。

会長 中身や仕組みを作って、協働をしていかなないとなかなか浸透しない。知らないだけでたくさんいい人材がいる。仕組みができれば何でも活用できる。

部長 特別出張所で人材バンクまでは難しいが、相談先の紹介程度はできるようになったほうがいいとは所長と話している。

委員 人を集めるのは、遊びや楽しいことから始めると集まりやすい。初めから目標が高くとなかなか理解されない。

支援員 まず、お互いが知り合って繋がっていくことが大事であると思う。

委員 団体には、特別出張所はハードルが高い。商店街は多世代の方が集まるので広がっていくことができるのではないかとと思っている。

会長 学びや遊びなどいろいろな視点から協働が生まれてくるのではないかと。
委員 地域の人たちに団体を知ってもらうには商店街は有効だと思っている。

会長	町でいいことをやっていくには、まず何でも町会長に話してみるのがいいと思います。
支援員	各委員の中で、地域活動に意欲のある方が参加するときはどういった方法で決めていくかなど事例をお聞きしたい。
委員	青少対では、参加したい人は理事会かけて決めている。最近、メンバーも参加型から参画型に変わってきている。町会長とも密に連携をとれている。
委員	私の団体では、地域のイベント出展する際のボランティアとして参加してもらっている。また、会のメンバーに区の講座に参加してもらっている。
委員	オーちゃんネットで情報発信やロコミ、まずは団体活動の見学をしてもらってから参加するかどうか決めてもらっている。
課長	オーちゃんネットのログで自治会町会のページが数多く見られている。
会長	自治会町会は、保護司や消防団・消火隊や要援護者の支援者は不足していて、とても欲しがっている。いろいろ頼んでいるが限界もある。
副会長	学習が活動につながるために、仲間との実践が間に入るのは成程と感じた。学習がNPOにつながる人もいるであろうし、その区別を図で表現してほしい。
会長	最後に、次回の推進会議の日程について事務局からお願いします。
	〈 第5回 区民協働推進会議 12月10日（火）開催 〉
会長	何か質問等がありますか。 それでは、これで終了します。ありがとうございました。